

平成29年1月13日  
道路局道路交通管理課

## 平成29年度「道路ふれあい月間」推進標語の募集について ～道路はあなたの財産です～

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動の推進に努めていますが、この一環として、平成29年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としています。

### ◇テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、次世代に受け継いでいきましょう。

### ◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

### ◇応募期間◇

平成29年3月31日（金）まで（当日必着）

### ◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔中学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔一般の部（高校生以上）〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

### ◇応募方法◇

1人何作品でも応募できます。

### ●はがきによる応募の場合

はがきに、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート（何を見て応募したのか（回答は任意です））を記載のうえ、郵送してください。

（郵送先）〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

### ●電子メールによる応募の場合

1. 電子メール本文に、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート（何を見て応募したのか（回答は任意です））を記載のうえ、[fureaigekkan-h2x5@mlit.go.jp](mailto:fureaigekkan-h2x5@mlit.go.jp)に送信してください。  
※上記アドレスからのメールが受信ができるように設定してください。
2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。  
※Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。  
※その他のファイル（Word、一太郎など）でも受け付けます。

### ●小学校・中学校単位での応募の場合（学年・クラス単位含む）

1. 作品をとりまとめのうえ、封書にて郵送してください。学校名及び学校所在地での応募が可能です（但し、応募作品ごとに、氏名、性別、年齢を明示してください）。
2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。  
※Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。  
※その他のファイル（Word、一太郎など）でも受け付けます。

### ◇入賞作品の発表・使用◇

入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

### ◇表彰◇

「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈いたします。

### ◇参考◇

平成28年度推進標語・最優秀賞

小学生の部 『友だちと げんきいっぱい 歩こうよ』

中学生の部 『道きれい そんな所は 人きれい』

一般の部（高校生以上） 『ありがとう 生きる力を くれる道』

### ◇その他◇

- ・ 応募作品の返却は致しません。
- ・ 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・ 本募集で取得した個人情報、入賞の作品の連絡・発表、表彰式のご案内にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

### ◇主催◇

国土交通省

### ◇国土交通省ホームページ（本資料の掲載URL）◇

[http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000793.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000793.html)

### <お問い合わせ先>

国土交通省 道路局 道路交通管理課 越智、岡野

（代表）03-5253-8111（内線37423）（直通）03-5253-8482（FAX）03-5253-1617



平成28年6月3日

道路局 道路交通管理課

## 「道きれい そんな所は 人きれい」

～平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品決定のお知らせ～

国土交通省では、「道路ふれあい月間」（8月）の行事の一環として、改めて道路の役割・重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間における取組を推進する標語を募集したところ、全国から4,987作品の応募がありました。

この標語について、三好礼子（エッセイスト、元国際ラリースト）やすみりえ（川柳作家、文化庁審議会分科会委員）吉岡耀子（交通・環境ジャーナリスト）の3名による審査を行い、[小学生の部] [中学生の部] [一般の部] の各部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を選定しました。

その結果、最優秀賞3作品、優秀賞6作品の計9作品が決定しましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

※敬称略

### <お問い合わせ先>

道路局 道路交通管理課 平林、岡野

（代表）03-5253-8111（内線37423）

（直通）03-5253-8482

（FAX）03-5253-1617

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。

## 平成28年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

### ◆最優秀賞（3作品）◆

#### 【小学生の部】

「友だちと げんきいっぱい 歩こうよ」

小林 悠希さん（栃木県 那須塩原市立塩原小学校）

#### 【中学生の部】

「道きれい そんな所は 人きれい」

高橋 昂太郎さん（秋田県 湯沢市立皆瀬中学校）

#### 【一般の部】

「ありがとう 生きる力を くれる道」

會田 誠一さん（神奈川県 大和市）

◎最優秀賞3作品のうち、委員に特に好評だった「道きれい そんな所は 人きれい」を今年度の代表標語とします。

### ◆優秀賞（6作品）◆

#### 【小学生の部】

「あんぜんに あるけるみちは たからもの」

壱岐 心音さん（宮崎県 宮崎市立恒久小学校）

「この道を 歩けば心も 歩き出す」

櫻田 歩維さん（神奈川県 横浜市立都岡小学校）

#### 【中学生の部】

「道渡り ほんの一礼 あたたまる」

加茂 三幸さん（佐賀県 伊万里市立南波多中学校）

「ぴかぴかの 道路にひびく 笑い声」

樹下 あいさん（佐賀県 佐賀龍谷学園龍谷中学校）

#### 【一般の部】

「この道で はじまる私の 物語」

吉野 信幸さん（埼玉県 川越市）

「あいさつも お歌も靴も 跳ねる道」

川村 雅恵さん（神奈川県 横浜市）

## 【各委員からの総合選評】

### 《三好委員》



3部門とも、完成されたものが多かったように思います。よみ易く、やさしい気持ちになれて、どれもに未来が感じられました。大笑いが止まらないのも大好きですが、ちょっと捻りのある珍しいものが最優秀賞になりましたね。ゴミ拾いがライフワークの私には嬉しい作品でした。さて、締め切り後に熊本地震が起き、誰もが道路整備の重要性を再確認させられることとなりました。審査時はフラットな気持ちで選んだつもりですが、どれもがつながっているように感じられ、胸が熱くなることもしばしば。日常の大切さ、当たり前にあることの有り難さ。多くの人の作品にあったように、笑顔と言葉を掛け合って、みんなでいい日本を作っていきたいですね。

### 《やすみ委員》

最終選考まで残った作品は、全体的に言葉並びの良さに加えてリズムの良さを楽しめるものが多かったようにお見受けしました。多くの人々の心へ響くようにと考えられた結果なのだと思います。みなさんの作品から、道路を色々な角度から見つめることが出来ました。



### 《吉岡委員》



道というと、あって当たり前と思われている存在なのでしょうが、それに対してよくこれだけの言葉（感性）が、と思うほど多数の作品が寄せられました。応募がきっかけとなり身近な「道」が生き始め、街の景色が今までとは違って見えてきたのではないのでしょうか。標語が人々の目に触れて、その波紋が広がりますように。

## 【各委員から最優秀賞作品へのコメント】

### 小学生の部 「友だちと げんきいっぱい 歩こうよ」

- 三好委員 文字の向こうから飛び出してきそうな勢いと笑顔を感じる作品ですね。優秀賞と最優秀賞を拝借して一文。「安全に歩けるたからものの道を」「おたがいに譲る心で」「歩けば心も動き出し」「友達と元気いっぱい歩けるね」。なんとも幸せな生活が見えてきました。私もこの中に混じって歩きたいです♪
- やすみ委員 毎日の通学路をイメージして作った標語だと受け取れます。明るくかわいい雰囲気伝わってきて、こちらまで笑顔にさせてくれますね。”歩こうよ”という呼びかけのような言葉選びも、メッセージが投げかけられてくるようでいいポイントになっていると感じました。
- 吉岡委員 子供にとって道を歩くことは生活であり、遊びであり、親、兄弟、そして友達とのつながりを深める大事な行為に違いありません。最優秀作は、そんな元気いっぱいの子供心が、弾むように表されています。他の優秀作品にもこのトーンが共通していて、だからこそ、大人はいい道、安全な道を守ってあげたいと願います。

### 中学生の部 「道きれい そんな所は 人きれい」

- 三好委員 一瞬、見た人の心をドキッとさせるものの、プッと笑わせてしまう比喻がとても効いています。今まであまりなかった「きれい」の使い方が印象的で、きっと話題になりますね。クリーンアップに精を出している方々の強い味方にもなりそうです。優秀賞は、どれも未来や夢や温かさを感じる作品でした。
- やすみ委員 すっきりとしたスタイルの作品で、一度目にしただけでもしっかりと印象に残りそうです。道の美化が行き届いている地域の、そこに暮らす人々への敬意や感謝の気持ちが見えてきました。道と人の姿を重ねることにより、共感のできる具体的な表現になっていますね。
- 吉岡委員 道には人の影が映し出され、ぬくもりがある、そんな感覚をとらえたこの標語には中学生らしい瑞々しさが表されています。小学生の「歩く道」に対して、「住む人の道」というような成長が感じられます。優秀作品の「道渡り・・・」にもその優しさが見られます。

### 一般の部 「ありがとう 生きる力を くれる道」

- 三好委員 「生きる力をくれる」のフレーズに、ほろり。明日何が起こるか分からないのが人生ですが、ほんとうに道が与えてくれる力は膨大ですよ。直球で多くの人々の心に響きそうです。他の作品も、さすが長い間道と対話してきた一般作品。跳ねながら未来へのスタート！というイメージが感じられ、どれも素敵でした。
- やすみ委員 力強さと思いやり、このふたつが同時に感じられる標語だと思います。大小さまざまな道を思い浮かべることができますね。人それぞれの道の情景が広がる作品ではないでしょうか。
- 吉岡委員 ストレートに道の力が謳われた作品で、文字どおり、前へと進む生命のほとぼりが感じられます。「ありがとう」の言葉によって、感謝だけでなく人生へのエールも伝播して来るようです。他のふたつの優秀作品もストーリーとリズムが生きています。